

「地域材を地域の建築に活かす」 ～木材活用はバケツリレー～

2022.3.19(土)15:00～17:30



【講師紹介】

古川泰司氏（ふるかわやすし）

新潟県出身。武蔵野美術大学建築学科卒業後、筑波大学大学院芸術学系デザイン専攻建築コース修了。

建築事務所、工務店勤務後、アトリエフルカワ一級建築士事務所設立。林業、製材、職人をつないだ地域の木材を活かした建物の設計を行う。また、住宅医の資格を活かし空き家活用で地域の空間資源再生、コミュニティづくりにも取り組む。

年間20回以上の講演、セミナーの講師を務める。

改正木材利用促進法が昨年施行されるなど、2050年脱炭素社会の実現に向けた取組が加速される中、地域材住宅をはじめ、これまで余り木材が使われていない非住宅分野でも木材利用を進めていくことなどが求められています。

今回のセミナーは、地域の木材を建築等に活かすことの意義やその具体的な方法等について関係者間の理解を深め、トークセッションを通じ、今後の地域材活用に向けた新たなつながりを創る場とすることを目的としています。

日にち：令和4年3月19日（土）

会場：ホテルメリージュ 3階鳳凰

宮崎市橋通東3-1-11
TEL:0985-26-6666

定員：60名程度
（建築、工務店関係者及び林業・木材関係者）

参加費：無料

主催：宮崎県木材協同組合連合会

【スケジュール】

14:30 受付開始

15:00 第1部 講演 講師：古川泰司氏

16:00 第2部 トークセッション

「住宅・非住宅分野での地域材活用に向けて」

進行：長野麻子氏（農林水産省 新事業・食品産業政策課長）
（前 林野庁 木材利用課長）

17:30 終了

18:00 懇親会（会費制）※懇親会は新型コロナウイルスの状況により開催しない場合があります

【お問合せ、主催】

宮崎県木材協同組合連合会

TEL:0985-24-3400 FAX:0985-27-3590

mail：mlumber@miyazaki-mokuzai.or.jp

トークセッション パネリスト紹介

●古川泰司 氏 (アトリエフルカワー級建築士事務所)

●松竹昭彦 氏 (一般社団法人 宮崎県建築士会 会長)

宮崎県宮崎市出身。広島大学工学部建築学科卒業後、松竹建築設計事務所入所。九州理工学院及び都城工業高等専門学校で非常勤講師を務める。宮崎県木造建築物コンクールにて住宅部門最優秀賞を2度受賞。2014年から一般社団法人建築士会の会長を務める。宮崎県主催の研修「みやざき木造塾」を経て、木造マイスターとして県に認定されている。日頃から地域貢献のため木材を活用したまちづくり活動にも精励。



●川添英司 氏 (注文の多い建築料理店 ゆうぼく人 代表)

宮崎県延岡市出身。宮崎大学土木工学科卒業。2004年、住宅・店舗等の建築設計事務所「注文の多い建築料理店ゆうぼく人」を設立。木材活用コンクール特別賞、ウッドデザイン賞、みやざき木の家コンクール最優秀賞など多数受賞し、非住宅分野の木造、木質化にも積極的に取り組んでいる。梁や柱を現しにした木のぬくもりを感じさせる設計が得意。昨年度は全国でも珍しい木造の映画館「宮崎キネマ館」を設計。宮崎県主催の研修「みやざき木造塾」を経て、木造マイスターとして県に認定されている。



●吉田利生 氏 (吉田産業(株)代表取締役)

宮崎県串間市出身。「故郷の資源を活かして戦後復興を」と1946年に祖父が創業した吉田産業を継ぎ、豊かな森林資源と広大な敷地を活用し国内有数の製材工場へと成長させる。先人たちが育んできた「林業」を尊重し、山の恵みに感謝し、木を余すことなく「価値ある商品」へ転換して提供することを経営理念に、植林から伐採、搬出、製材加工までを一貫して自社で行う。宮崎県木材協同組合連合会、宮崎県造林素材生産事業協同組合連合会の理事を務める。



地域材普及セミナー「地域材を地域の建築に生かす～木材活用はバケツリレー～」参加申込書

宮崎県木材協同組合連合会 行

(FAX : 0985-27-3590 メール : mlumber@miyazaki-mokuzai.or.jp)

※必要事項をご記載の上FAXまたは、同様の内容をメールにご記載の上お申込み下さい。

氏名		所属	
住所	〒		
TEL		FAX	
職種	設計 / 施工 / 木材業 / その他		
懇親会 (会費制)	参加 ・ 不参加		

申込締切：3月4日（金）